

《2018年1月～6月4日までの重大インシデントについて》

運輸安全委員会のホームページの情報と、ネットの記事から拾い出した情報とを合わせてご報告します。

＜運輸安全委員会＞

今年発生した案件で「報告書」まで至ったものはありませんでしたので、「調査中の案件」（重大インシデント）を確認しました。

リストには大型航空機から個人の小型機、ヘリコプターの分まで全てが混在しているので、その中から大型航空機分だけを抜き出しました。以下のとおりです。

（1）2018年3月18日 那覇空港 上海吉祥航空機 A320 型が、海上保安庁のファルコン 900 が滑走路から離脱していないのに離陸した件。管制の離陸許可が出ていなかった。

（2）2018年3月24日 福岡空港 ピーチエアーション 151 便 A320 型が着陸した際に、前輪が損傷し滑走路上で動けなくなった件

（3）2018年4月11日 羽田空港 タイ航空機 660 便 B747 型が羽田空港に着陸する直前、地面や水面への異常接近など知らせる対地接近警報装置が作動し、着陸やり直した件。

（4）2018年5月24日 熊本空港 日本航空 632 便 B767 型が離陸直後にエンジンタービンブレードが破断し、益城町の周辺に落下した。金属片は23か所で98個が見つかった。診療所のガラスを割ったり、車にあたった件。

なお、国交省が「重大インシデント」に認定したものの、日本の運輸安全委員会が調査担当にならなかった件が、別途2件あります。この件は、ネットの記事からの拾い集めです。

（1）2018年2月18日（日本時間） アメリカ・ニューヨーク・JFK空港に着陸しようとしていた日本貨物航空のB747型が、滑走路から大きく手前の海上で、海面に異常接近してしまった件 ⇒この件は米国の運輸安全当局が調査

（2）2018年3月29日（日本時間） 成田発香港行き日本貨物航空 5207 便 B747 型が、香港に着陸直前にエンジン火災が発生したと計器に表示。4つあるエンジンの内1つで火災の痕跡が確認された ⇒この件の原因の調査は香港当局が担当

ということで、私の調査では、2018年に入ってから今日までの「重大インシデント」は6件ということになります。

ちなみに、2017年も1年間で6件（運輸安全委員会の扱い分）でした。

その後も何件も事案がありますが、中でも6月6日全日空機が離陸前の走行中にブレーキ、乗員5人重軽傷、日本時間6日ベトナム・ホーチミン発成田行き全日空834便B767型機が離陸前の走行中に急ブレーキをかけ、客室乗務員5人がけがをしました。

このうち1人が腰椎を骨折する重傷だったことから、国土交通省が航空事故に認定しました。

運航するエアジャパンによりますと、パイロットが誘導路を走行中に経路を間違えそうになったため急ブレーキをかけたということです。乗客197人にけがはなく、パイロットが運航に支障が無いと判断したため、成田空港まで運航を継続したということです。

（羽田増便による低空飛行ルートに反対する品川区民の会会員）